

令和六年

松香 Komunikado

令和六年九月度 月次祭 ごあいさつ

分苑長 山本 健

Saluton al ĉiuj

只今は、九月度の月次祭並びに祖霊慰霊祭を無事に齋行させて頂き誠に有難く思います。又ご参拝・ご奉仕くださいました皆様方、又オンライン参拝並びにお玉串をお送りくださりました方々に、御礼申し上げます。

日中はまだまだ暑い日が御座いますが、九月に入り、朝晩の暑さも少し和らいできました。

台風十号は、防風による被害は幸い少なく済みましたが、遠隔地での線状降水帯による大雨による犠牲者が出ました。被災された方にお悔やみ申し上げます。

九月の天恩郷の月次祭に、未信徒の初めての方をご案内するときめておりましたので、高速道路が閉鎖されない限り参拝しようと、出かけました。途中大雨でしたが、

九月八日発行
第三百十八号

大本松香分苑
豊橋市南牛川二・三・二〇
電話 ファックス
〇五三二・六三・二一七三
発行責任者 山本 健

亀岡につくと晴れておりました。翌日も和歌山から台風が北上して亀岡を直撃と予報が出ておりましたが、月次祭当日は朝から青空で、午後の講演会が終わって十五時過ぎに帰るときに小雨が降りだす程度で、大変お陰を頂きました。聖地では、建物や塀などロープで縛るなどの対策しており、備えることの大切さを改めて感じました。又、ご案内した未信徒の方は、隣の岡崎市にお住まいの方ですが、大変感激され、来週には松香分苑にも参拝したいと仰っておられました。

万祥殿月次祭後の、浅井総務のごあいさつで、「レプリコンワクチンについて、安全性が確認されてないにもかかわらず、十月から始められる。日本以外はどこも認可されてなく、世界中で認めたのは日本だけである。安全が確認されていないものは体に入れないように」とのお

話が御座いました。レプリコンとは自己増殖という意味で少ないワクチンが、体の中でどんどん増えていくというもので、考えただけで恐ろしいです。国が進めていまずので、やめるようには言えませんが、このご挨拶の意味をよくとらえていただきたく思います。祭典後に、

「農は国の本なり」く食と命を守るく と題して、東京大学農学部卒、元農林水産省、現在東京大学大学院農学生命科学研究特任教授、農学博士食料安全保障推進財団理事長の鈴木宣弘先生の講演会が、出口王仁三郎顕彰会主催で、みろく会館で行われました。台風の影響で、オンラインで行われました。

ポイントをご紹介します。

一、日本は米国の余剰農産物の最終処分場
二、米国などの危ない食料の最終処分場
三、米国企業の利益のために、日本人が自ら動くようにする洗脳教育

四、自動車の利益のために農と食を差し出す「生贄」政策、農産物関税撤廃

五、目先の農水予算削減しか見えない財政政策
↓ 輸入増加、農業縮小、自給率低下

★その結果、世界で最初に飢えるのは日本!!

今回のお話で、食料が大変な状態になっていること、そして消費者の私共にも出来る事がある。つまり「多少高くても安全な有機栽培の野菜を出来るだけ買うようにして、生産者を支援する」ということです。ヨーロッパでは、これが普通になっているとのことでした。教団様は自給自足とお示しくださっています。大本で進めている酵素農法など、安全なお米や野菜作りを少しでも行う。又は作っている方と契約して安全安心なものを購入するなど、もう一度、食に関して見直しをしていきましよう。

Koran dankon